東京八王子プロバスクラブ
創立 1995 年 10 月 18 日

プロバスだより
第297号

2020 年 8 月 13 日発行

編集・発行：情報委員会

2020～2021年度　テーマ　「コロナから身を守る」「温故知新：ふるきをたずねて新しきを知る」

定期総会・例会

日　時：令和 2 年 7 月 9 日(木) 12:00～15:00
場　所：八王子エルシィ
出席者：総会 43 名、
例会 47 名　出席率 84 %
（会員総数 58 名、欠席 9 名、休会 2 名）

第 25 期定期総会

1. 開　会　　**齋藤例会委員長**

第 25 期定期総会を開催します。

2. 会長挨拶　　**田 中 会 長**

3. 議長選任

恒例により会長が議長を務め、田中会長が議長席につき、会員総数と出席者数を確認、本総会が有効に成立したことを宣言し、議事に入った。

4. 書記・議事録署名人の選出

書記に鈴木均会員、議事録署名人に根本照代会員、深谷正徳会員が選任された。

5. 議　事

議案は配布されているので、項目のみを掲載。

第Ⅰ号議案　2019～2020 年度事業報告
第Ⅱ号議案　2019～2020 年度一般会計決算報告
第Ⅲ号議案　2019～2020 年度活動準備資金特別会計決算報告
第Ⅳ号議案　2019～2020 年度第 24 回生涯学習サロン特別会計決算報告

前年度幹事及び地域奉仕委員長からの議案説明引き続き監査報告の後、採決を諮り、第Ⅰ号議案から第Ⅳ号議案まで、一括審議、賛成多数で可決承認された。次いで、

第Ⅴ号議案　2020～2021 年度一般会計予算（案）
第Ⅵ号議案　創立 25 周年記念事業
第Ⅶ号議案　2020～2021 年度活動準備資金特別会計予算

持田幹事より提案説明があり、審議の結果賛成多数で可決承認された。

6. 議長解任

7. 閉　会

第 297 回例会

1. 開　会　　**齋藤例会委員長**

2. 会長挨拶　　**田 中 会 長**

現在この世に生を頂いている私達がかつて経験したことのない新型コロナウイルスのパンデミックという大事態に加え、九州を中心とした西日本の豪雨の悲惨な状況が伝えられ、気の休まるいとまもありませんが、そんな中、皆様ようこそお集まりくださいました。本日は、八王子南ロータリークラブ会長・幹事のご出席を戴き、ご挨拶を頂戴できることになりました。ありがとうございます。

先程の定期総会において、新年度の方向も決めていただきました。こういう時期でもありますので、本年度のスローガンは「コロナから身を守る」と「温故知新」とさせて頂きました。より具体的には

1）新型コロナウイルス対策を考慮した「例会」を考え実行する。

2）「プロバスだより」プラスαの会員相互交流手段を考え実行する。

3）状況変化に対応した「25 周年記念行事」の実施に努力する。

4）各委員会において過去 25 年の歴史を振り返り整理する。

とさせていただきましたが、これに加えて会員の増

強に対して一段の努力が必要かと思います。例会以外にも、会員相互の交わりをより深める活動が必要かと思います。「三密を避けながらも、心を密に」。

もう一つ、2年後、八王子で実施予定の「全日本プロバス総会」に向けての準備も始まります。

コロナ対策を意識しながらも、将来に向けての礎を築いていきましょう。

3. 来賓ご紹介・ご挨拶

東京八王子南ロータリークラブ　　神山　治之会長

東京八王子南ロータリークラブ　　古川健太郎幹事

ご挨拶　　神山　治之様

八王子プロバスクラブ様の地域における大変積極的な活動にはいつも敬意を表しております。

前期は新型コロナの影響を受けて、メイン事業である「生涯学習サロン」の開催がすべて準備して、直前にコロナの影響を受けて中止せざるを得なかったとのことです。大変残念ではありましたが、今期はコロナ禍の中でのスタートとなりましたが、地域奉仕活動にますます前進されますことを祈念いたします。

南ロータリークラブの紹介をさせて頂きます。

今年度の会長標語は「育もう奉仕の心」としました。私の思いは「真の親睦は奉仕活動の中にある」と考えております。個人的な活動にはなりますが、具体的には、ＮＰＯ法人フードバンクＴＡＭＡの活動を進めております。2年前には市内の児童養護施設の子どもたちとの触れ合い、昨年は子どもたちを連れて海への一泊旅行にも出かけました。今年度は母子家庭支援施設・ＤＶなどの虐待被害からの２年間の期限付きで過ごせる施設、いわゆるシェルターでの生活者を対象とした奉仕活動をしております。今後もプロバスクラブ様とは共に協力し合い、それぞれの奉仕活動を進めて参りたいと思います。本日はありがとうございました。

4. ハッピーコイン披露

河合副会長からハッピーコイン21件の披露がありました。　（5～6ページに掲載）

5. バースデーカード贈呈

７月生まれの会員に池田会員手作りのバースデーカードが送られた。

写真左から高取会員、岩島会員、浅川会員と会長

6. 幹事報告　　持田幹事

今年度 25 期の幹事を務めます持田です。１年間よろしくお願い致します。

会長の挨拶の中にもございましたが、今年度はWithコロナで対処していく年になります。このような難しい年であるからこそうまく波を乗り切りたいと思っております。

私は、プロバスクラブは楽しく集い、奉仕をするクラブであると思っております。そのために３つのポイントがあると思います。

１）まず、例会についてです。例会はプロバスクラブの要です。昨年来、多くの新しい取組みがありましたが、更に工夫を加えたいと思います。それには例会に「同好会活動の楽しさ」を報告して頂く時間を 10 分くらい組み入れる予定です。楽しい仲間作りには同好会活動が最適であります。新しい仲間が増え、絆が強くなることで奉仕活動のクラブの活力が増強されると考えるからです。

２）Withコロナで、この先予期しないことがたくさん起こることが予想されます。それらに臨機応変に対応することが大変重要になります。数時間、最長でも半日で伝達できる連絡網を持つことが今の時代必要。各委員会において作成又は、見直しをお願いします。今や、中止、変更は異常でなく通常になると思わなければいけないからです。そういう体制、機能を持ち行動変容をすべきと思います。

３）収支面はなかなか厳しい財政上状況です。緊迫しております。予断を許しません。追々、状況説明はしてまいりますが、今のプロバスに見合った収支採算の取り方を研究、検討しなければならないと思います。

最後に、報告ですが、昨日７月８日（水）東京八王子南ロータリークラブの例会に田中会長と出席致しました。78 名の方の出席でした。リモートでの参加者が何人かおり、それを含めて 100%出席とのことでした。勉強になりました。

7. 委員会活動報告

(1) 例会委員会　　齋藤委員長

今期の例会は新しいスタイルの例会、3 密回避・ソーシャルディスタンスでも心はつながる例会というコロナと向き合う試練を求められております。

例会は 25 年という長いことプロバスライフという人間関係を育んできました。助け合い支え合ってきた例会の開催は、コロナに左右されても、人の愛や思いが分かる方たちの交流の場になっている、繋がっている喜びを感じられる例会をできるよう努めます。会員の輪が続きますように皆様の協力を是非お願いします。先が見えない状況ですので、連絡事項・注意事項も多いと思います。連絡網などの活用をお願いします。

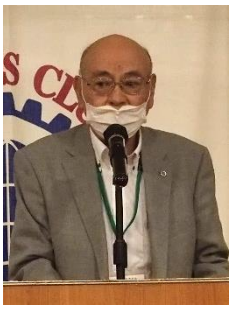
(2) 情報委員会　　内山委員長

情報員会の方針についてご報告いたします。

会長の新年度の方針を受けまして、情報委員会としては、「より親しみやすい情報誌の発行と情報発信の強化」という目標を掲げました。

1. 具体的には、情報誌「プロバスだより」をより良い品質に仕上げることは勿論のこと、より親しみやすい情報誌となるよう情報委員全員がノウハウを寄せ合い協力して取り組んでいきます。
2. 情報発信の強化についてはプロバスだよりや学習サロン抄録のデータだけでなく、プロバス活動のトピックス等についてもホームページに掲載し、前年度に増して情報の多様化を図ってまいります。

(3) 会員委員会　　寺山委員長



1. 会員委員会活動方針

(1) 会員募集

7 月現在の会員数は 58 名、内訳は男性 46 名、女性 12 名です。新規会員募集としては 5 名、そのうち 2 名は女性会員となるよう努力して参ります。

会員委員会だけでなく、会員皆さまにもご協力を頂きたくお願いいたします。

① 入会者のアンケートは中止します。

② 推薦しやすくなるように、会員全員に個人用名刺を作成いたします。

委員会、役職、年度など無しの名刺。一人 30 枚　下書き用紙を配布いたします。記入の上、委員長に提出をお願いいたします。

③ 連絡用のツールとして、会員全員にメールアドレスの配布をいたします。個人情報なので、掲載を希望しない方は、名刺の下書き用紙のメール欄の括弧の中に×の記入をお願いします。

④ 新入会員が継続できるように、オリエンテーションを兼ねてサポーター制を導入いたします。（例会時に隣の席に座り懇談する形で実施いたします。推薦者、各委員会、などと協力して実施してまいります。）

(2) 集金業務

昨年に引き続き受付を設けて実施してまいります。

声かけ運動は３密を避けて実施いたします。

欠席者のフォローは身近な会員からお願します。

領収書カードの変更点――野外研修が特別例会になります。

(3) 25 年の歴史の整理

今後のプロバスクラブのあり方

10 周年、20 周年の記念誌を参考にして、さらに古い会員の方から教えていただきながら、整理していきます。担当は岡本副委員長。

(4)その他

本日、会員名簿、胸札（領収書付き）を配布いたしました。よろしくお願いいたします。

(4) 研修委員会　　飯田委員長

会長運営方針を踏まえ
○ 会員の多様性を強みとした有意義な活動を推進する。
○ コロナ対応としての自己防衛をしながら、従来からの事業を継承するとともに、新たな展開も検討する。特に今年は野外研修から「特別例会」へ移行した時であり、充実した内容を考えていきたい。

1. 卓話
・新入会員の「自己紹介」を兼ねた卓話を主体とする。
・近隣のプロバスや諸団体との交流の場となれるように近隣クラブや団体に働きかける。
・卓話時間のありかたの検討を行う。
・プロバス揺籃期の「思い出」を聞かせて頂く。

２．特別例会
・参加者の減少等により従来の野外研修から今期は特別研修、例会として検討を行う。
・近場で充実した企画を策定し、8 月例会時には具体的な素案を発表したい。

３．同好会の活性化
同好会の活動を通じた交流・交歓を一層進める。

(5) 地域奉仕委員会　　馬場委員長

地域奉仕委員会の活動方針
地域奉仕委員会の活動の大枠は次の 2 本立てで進めます。

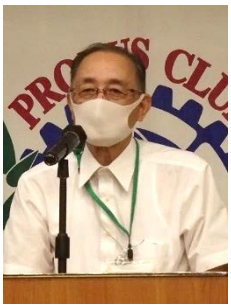
１．会長の運営方針の“温故知新”対応
(1) 第 1 期～24 期の活動を対象として当委員会の過去を振り返り整理する。
(2) ここ数年で顕在化している当委員会の課題を直視し、対応案を検討する。

2. 25 期「生涯学習サロン」の企画と推進
24 期（2019 年度）資産を最大限活用し、今期のカリキュラム及び予算案を策定遂行する。
特別講話、野外サロン及びテーマの概要案並びに予算案を、12 月の臨時総会に向け 11 月末を目途に纏める。

(6) 交流担当　　一瀬理事

田中会長の後を受けて交流担当に就任いたしました。よろしくお願いいたします。
基本的には前任者の路線を引き継いでやってまいりますが、本日は 2 点申し上げておきたいと思います。
1 点目は創立 25 周年記念事業について、状況によってはいろんなバリエーションがありうる点に鑑み関係団体への広報を適確に行うことであります。
2 点目は全日本への対応であります。田中会長が全日本プロバス協議会理事（副会長）に出られることが内定しておりますが、八王子プロバスとして組織的にサポートする体制を構築してまいりたいと考えます。それをひいては 2 年後の当クラブにおける全日本の総会の受け入れ態勢を確固たるものとすることにつなげたいと考えるものであります。

(7) 宇宙の学校　　下山 PJ リーダー

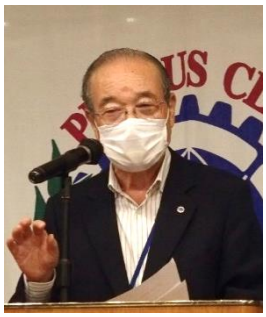


１．既にご承知のとおり、令和２年の「宇宙の学校」関連事業は中止しています。
例年では今頃は夏休みを前に盛りあがっている頃ですが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大の防止を考慮し、実施できませんでした。このような状況が続けば令和 3 年度についても実施できるかどうか心配しているところです。
小学校では休校による授業の遅れの取り戻しに努力され、夏休みも期間短縮して授業するなど大変な状況に置かれています。その成果がわかる夏休み以後になると、次年度の姿が見えてくるでしょう。

2. これに加えて、2 学期になり会場校の都合、ボランティアの学生の都合など諸条件がはっきりすると実行計画が立てられると思います。従って夏休み明けになれば、諸計画立案準備が始まると思います。

3. 本年度より、スリーボンド八王子「宇宙の学校」という名称で実施する予定になっていますが、冠事業の経緯については、後援会長から説明します。

8.「宇宙の学校」後援会報告　　杉山　友一



八王子「宇宙の学校」事業は10年目を迎え、本年度からスリーボンドの冠事業としてスタートする予定でしたが、下山リーダーの報告のとおりコロナ事情の中で中止されました。そこで、この際事業の経営面からご報告をしておきます。

八王子「宇宙の学校」の総予算は今や200万円規模の事業となっておりまして、その内訳は、市から業務委託費としてKU-MAに直接支払われる予算100万円、教室参加費個人負担60万円（@2,500円×240組)、スリーボンド冠代金50万円です。

従いまして今後は一般事業所からの寄付やクラブの支援の会としての寄付を要請致しません。なお、従来の後援会は八王子プロバスクラブ・八王子「宇宙の学校」後援会として、残余資金の管理を通じて実行委員会活動を補佐して参りますのでご理解賜れば幸いです。

9. その他

創立25周年記念品について

25周年記念事業実行委員(会計担当)　一瀬　明

既に報告、説明されておりますように当クラブから25周年の記念品として地元八王子特産の絹織物のピンネクタイが会員全員に贈呈されますが、その実物見本を6種類用意しております。お好みのものをお帰りまでに選んで氏名を記入してください。これから製造、10月3日にお渡しいたします。

創立25周年記念誌のエッセイなどについて

記念誌には、会員の皆様のエッセイと同好会活動を掲載した箇所があります。お願いがあります。

一つは会員全員の方にエッセイ文を500字以内にまとめてお書きいただき提出していただくこと。

二つ目は同好会の代表の方々に、同好会の内容、経緯などを600字程度にまとめていただき、掲載する写真があれば併せてご提出していただくこと。

提出は8月末日までに記念誌制作担当の内山会員までご提出ください。

10. プロバス賛歌斉唱　中止

11. 閉　会　　河合副会長

第25期定期総会・第297回例会を滞りなく終了することができました。長時間にわたりご協力を頂き有難うございました。

いよいよ田中年度のスタートでありますが、今年度はコロナ対応による社会生活の制約で多難な一年が予測されます。是非皆様方のお力添えを頂き、田中会長を中心にプロバス活動を盛り上げてゆきたいと思います。

以上をもちまして本日は閉会とします。ありがとうございました。

ハッピーコイン

◆すばらしい会場での懇親会の開催有難うございます。飯田会長・一瀬幹事のご配慮に感謝致します。
立川冨美代

◆いつも伴奏の畑野かん奈さんの独奏会はとても嬉しいです。皆さん楽しんで頂きます様に。
立川冨美代

（以上の立川会員の2件は6月25日に日本閣で開催された年度末懇親会の会場でお預かりしたハッピーコインです。）

◆コロナ禍でいろんなことがあった多難な飯田年度でしたが、何とか幕引きして今期につなぐことができました。会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。
一瀬　明

◆田中丸の船出、シケを覚悟して皆の力で力を合わせて大波を乗り越えていきましょう。船長お願いいたします。
一瀬　明

◆今年度は研修委員長を担当することになりました。どうぞ、みなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。
飯田冨美子

◆新しい年度が始まりました。田中丸の出港をおよろこび致します。コロナとの共生というむずかしい状況の中ですがご活躍を期待しています。
飯田冨美子

◆田中丸の船出おめでとうございます。コロナを振り払い力強くすすみましょう。
立川冨美代

◆飯田会長ご苦労さまでした。大変楽しい一年でした。又、新田中会長の活躍を期待しております。
野口　浩平

◆アシタバの苗を植えたら、新芽が出て来ました。秋には新芽を摘んで、おひたしや天ぷらにして食べるのを楽しみにしています。　岩島　寛

◆健康に恵まれて８５歳の誕生日を迎えられたことは何よりの感謝です。これからも一日一日をしっかり噛みしめながら生きて行きたいと思います。
岩島　寛

◆副幹事、二度目のお勤めになりました。本年もよろしくお願いいたします。　山口　三郎

◆また一年プロバスクラブの皆様、よろしくお願いします。　浅川　文夫

◆コロナの荒波に船出した田中丸の航海の無事を祈るや切なり。乗組員全員の協力で渡り切り最後に「ハッピー！」と叫びましょう。　馬場　征彦

◆飯田チームの皆さん１年間ご苦労さまでした。田中チームの皆さんご苦労さまです。　竹内　賢治

◆コロナ吹き飛ばそう新年度田中丸の船出を祝して。
杉山　友一

◆「天気晴朗なれど波高し」ではありませんが、with コロナで共存しながらもうまく波を乗り越えていきたいと思います。一年間幹事を務めます。宜しくお願い致します。　持田　律三

◆コロナのパンデミックで大変な中、九州中心に豪雨の大被害！せめて我々は心を強く持って。
田中　信昭

◆飯田会長以下の前年度の理事の皆様ご苦労さまでした。感謝します。新年度田中会長以下のご指導によりクラブの盛会を期待します。　下山　邦夫

◆新役員も決まり、プロバスクラブ ガンバッテ行こう。　荻島　靖久

◆コロナの影響で外出もままならないため家にこもっています。今日例会に出席し皆様にお会いでき気分が晴れました。　高取　和郎

◆田中会長年度のスタート。副会長職としてどこまでお役に立てるか心配。精一杯努力するのみ。
河合　和郎

◆私の俳句集の出版に対し、多くの会員の方々から心のこもった励ましをいただきました。心から御礼申し上げます。　河合　和郎

寄　稿

ボビーの思い出

［My name is Bobby. 1987～2004］

山野　稔

（その４）初めての海外生活

２歳の時、父の仕事の関係で僕は家族と共にベルギーに引越しすることになった。成田出発前夜は空港近くのホテルで宿泊。僕だけの特別部屋はボイラー室の隣でうるさかった。朝一番でケージに入れられたまま、母兄姉と共に空港でチェックイン手続きの後、僕は母と一緒に検疫事務所に行って検疫書類を提出。全てＯＫとなったところで、突然母が“それじゃボビー、向こうに着いたら会おうね。大丈夫だよ。ボビーの好きなリンゴとお兄ちゃんのスニーカーを入れておくからね”。エッ何なの？僕一人ぼっちなの？ 僕は突然の別れに訳も分らずワンワン鳴き続けた。

家族と同じ飛行機で行くことは何となく分っていたが、僕の座席は動物運搬用の部屋。エンジン音がうるさくて、怖くて全然眠れなかった。食欲なんてまるでゼロ。好きなリンゴは一口も口をつけずじまいだった。当時はアンカレッジ経由で合計１６時間。機内ではずっと恐怖でブルブル震えていた。すごく長かったなあ～。

突然ケージが飛行機から降ろされ、カバン等の荷物と一緒にベルトコンベヤーの上に置かれ、動き始めた。一体どこに行くのだろう、僕は？“あっボビーだ！”“ボビー、ボビー！”。突然兄と姉の声が聞こえた。僕を見つけてくれたのだ。

“助かった！”僕は感激で尻尾をちぎれるほど振り、ワンワン吼えて家族との再会を喜んだ。“あれっ？リンゴ食べてない！”って姉が言っていたが、恐怖でそれどころでは無かったことが分らんのかなあと悲しかった。

ブリュッセルの空港では検疫手続きは全く無し。出迎えに来てくれた父と一緒に急いで空港ビルの外に出た。３ヶ月振りに父と会えたのは感激だったが、何よりもオシッコがしたかった。街路樹の下で２分間ほどずっとオシッコしっぱなしだった。
“こりゃ世界記録だ！”なんて父から冗談を言われたが、あんな怖い飛行機の中ではオシッコはずっと出なかったのだ。あ～スッキリした！

ようやく家族みんなと一緒になれて、僕は飛び上がりたい気分だった。８月とは言え結構涼しい夏。湿気が無いなあと思った。ところで一体ここはどこなのだろう。まわりの人達が喋っている言葉が全然わからない。何故だろう？と思いながら僕の初めての海外生活が始まった。

（その５）円形脱毛症

僕にとって初めての海外生活は何もかも目新しかった。２週間ほど街中のウイークリー・アパートで過ごした後、郊外の家に移った。直ぐ近くに大きな La Hulpe 城があり、そこでの散歩は格別に楽しかった。自由に走り回って、ウサギやリスを追っかけた。広い草原でゴロゴロ転がりながら鳥のウンチを体にすり付けるのが大好きで、母を大変困らせた。

そう言えば、どこの犬もみんな行儀が凄く良くて、僕みたいに吼えないのには驚いた。ブリュッセル市内の観光スポットでは犬連れでレストランやカフェにも入っている人が沢山いたし、回りの人も全然気にしていない。店によっては入り口で犬が待てるように鎖を止めておけるようになっていたし、水飲みを置いてあるところもあった。僕も試しに一度だけレストランの中に入れてもらったけれど、家族はゆっくり食べるどころではなかったらしく以来連れて行ってもらったことがなかった。テーブルの下で美味しそうな匂いだけを嗅がされ、じっと待っているなんて、がっつきの僕には無理だった。モゾモゾすると“ボビー、お利巧にしなさい！”なんて怒られたのだから。でも他の犬は　ホントに静かにじっとテーブルの下で寝そべって待っているから、ホトホト感心しちゃった。あんな真似は僕には到底無理だった。

家の周りを散歩中、近所のおばさんに“なんていう名前なの？”って僕の名前を聞かれて、“ボビーです”と母が答えたら、そのおばさんは“覚えやすい名前ね！”って言ってくれたけど、でもその後直ぐに　そのおばさんの御主人が“ボブ”って言う名前だったことが分って赤面したらしい。ボブとボビーは元はと言えば同じ名前で、僕のような名前は欧米に行くと人の名前にとっても多いのだ。僕を大声で僕をボビーと呼んだりする時　母は時々気まずい思いをしたらしい。だから母は今度名前を新しくつける時はパセリとか、セロリとか、チェリーとかの野菜か果物の名前を選ぶって言っていたのを憶えている。

初めての年末休暇に家族はスペイン方面に出かけた。僕は家から遠いところにある犬のホテルに２週間程預けられた。どの犬もみんな一緒に遊んではしゃぎ回っていたし、僕も誘われたが全然そんな気分になれず怖くて隅っこでブルブル震え続けていた。

２週間ぶりの家族との対面では“ボビーどうしたの？！そんなに痩せこけちゃって！”。
これが家族の第一声だった。僕は家族に会えて嬉しかったけど、あんな犬の中でズット怖い思いをしたことを家族は全然分っていなかったみたいだ。風呂場で石鹸でたっぷりと洗ってもらい、その夜は久し振りにグッスリ眠った。

帰宅して静かな生活に戻って１ヶ月経過しただろうか。僕の背中に５円玉程のハゲが２つも出来た。皮膚病になったかと病院に連れて行ってもらったら、お医者さん曰く、“最近何かひどいストレスを感じるようなことは無かったですか？これ脱毛症ですよ！”。
長い海外生活中にあんな円形脱毛症になったのは家族では僕だけだったヨ。まあ幸い一度だけだったけどね。そう言えば、犬の医療費が安いし犬のホテル代も安いって母は喜んでいたけど、ホント失礼しちゃうよな！　僕 両方とも大嫌いだった。

梶の葉

内山　雅之

茶道裏千家には、七夕の時季に「葉蓋のお点前」があります。

葉蓋の扱いは、水指のかわりに、木の葉を用いるものです。時季は夏がふさわしく、７月から８月にかけてでしょうか。薄茶だけのものです。
使われる葉はカジノキの木が多く、キリ、ハスなども使われます。但し、毒素や匂いの強い葉などは使われません。

点前座には、左側には風炉が置かれ釜が懸けてあります。その右横には水指が置かれています。水指の前には仕組まれた茶碗と棗（茶入）が定座に置かれています。亭主が座り、点前の手順が進んでゆきます。

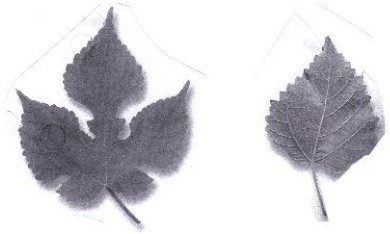
水指の蓋は、多くの場合水指の横に立てかけるのが普通ですが、葉蓋の場合はそれが出来ません。

蓋を開けるときは、右手で葉の手前を取って、左手を添えて二つに折り、軸を横にします。葉の大きさにより三つか四つに折り軸先を葉に差して開かないようにして、それを左手で建水に入れます。従って、水指の蓋はありませんので、蓋なしのままになります。

この点前は裏千家11代玄々斎宗匠が考案したものと言われております。

今年は新型コロナウイルスの影響で、夏場の稽古は中断されているようなので、習うことが出来ないかもしれません。

カジノキの葉はクワ科カジノキ属の植物で、葉にはまったく切れ込みのない葉形から複雑に切れ込んだものまで多彩な葉の形があります。同じ株でも変異が多くあります。



また、樹皮はコウゾと同様に和紙の原料となります。

カジノキは古くから神に捧げる神木として尊ばれておりました。

カジノキの葉は家紋に多く使われ、諏訪神社と諏訪氏の神紋・家紋はカジノキの葉を図案にしたものです。

（神紋はインターネットより）

・・・・・・・・・・・・・・・・・・

（茶道用語）

○　水指とは席中で釜に水を補給する水や茶碗・茶筅などをすすぐ水をためておく器です。水指には多くの場合、蓋がついています。素材は金属・陶器・木工品があります。

○　建水とは席中で、茶碗をすすいだ湯水を捨てる器です。素材は水指と同じく金属・陶器・木工品などがあります。

俳句同好会便り

私の一句〈七月の句会から〉

河合和郎

仲間と顔を合わせての句会は矢張り楽しい。遠慮のない発言で座はしばし爆笑の渦。気兼ねない日常が一日も早く戻って欲しいものだ。

父の日へ宅配便のベル三つ　　馬場　征彦

子供達からの贈り物が届く。嬉しさをベルの音に託したのが上手い。幸せな日常の一コマが描けた。

施餓鬼会も和尚一人の読経かな　　野口　浩平

三密を避けてのコロナ対策は法事も例外ではない。ぽつんと一人で読経する和尚を一句に。

コロナ禍や大波小波ありて夏　　東山　榮

春に始まった騒ぎは収まることなく気が付けば夏。コロナとの戦いはいつまで続くのだろうか。

角笛が牛の群れ呼ぶ夏の霧　　矢島　一雄

スイスの山深き放牧の様子を幻想的に詠んだ。かつての旅の思い出の一句か。時空を超越する俳句。

深まりて深まりて果つ濃紫陽花　　池田ときえ

この句から、夫婦愛の深淵が感じ取れるのは私の思い過ごしであろうか。深く濃い絆を秘めた一句。

ばちが舞ひさんさで明ける北祭　　田中　信昭

北国の短い夏を精一杯謳歌する祭りの様子を活写。三味の音や太鼓の音、囃す唄声も聞こえてくる。

立葵一列に立つ高さかな　　下山　邦夫

立葵の咲き揃う様子を詠んで巧い。高さを強調することで、花の色や姿を想像させてくれる。

立葵花咲き上げて時告げる　　間宮　敏明

立葵は梅雨はじめに長い花穂を立て、梅雨明け頃に咲き終わる。華やかな花の盛りと終焉を詠む。

恐ろしか暴れ球磨川梅雨出水　　飯田冨美子

「恐ろしか」のお国言葉が水害の実態を語っている。人命が家屋が呑み込まれた。災害列島の惨禍。

足跡の残りし植田水匂ふ　　河合　和郎

田植が終わったばかりの水田には足跡が深々と残り、濁りの残る水にはまだ土の匂いが籠っている。

編集後記
編集の仕上げは難しいです。なんとか皆さん方のご協力で上梓にこぎつけました。
情報委員会　内山雅之